FILE NAME: Kubota (KUB)

DATE: 0000

DOC#: KUB006

DOCUMENT DESCRIPTION: Protecting Employees 1-7a PMK

a)

5. Passing the UL Standard (Kubota Monthly News Letter 61.12)

The ripples of free trade is about to reach the shore of Japan's industrial world. Asbestos pipes are also in their course.

As a precondition for entering the international market, it was imperative for Kubota that its asbestos pipes pass the UL Standard of the U.S. to prove whether their quality is internationally accepted. The result of a one-month strict inspection conducted in May with the presence of Mr. Koskinan from the UL Association showed that Kubota's asbestos pipes were accepted in the UL Standard in inspection items including Rupture, Joint, Size, and Bending, and has guaranteed the asbestos pipes to be internationally standardized.

The asbestos pipes are connecting our path from a nationally-recognized company to a world-class company.

鉄鋼界

No.126

昭和36年11月号

12 月 号 目 次

社長訓示
全従業員が幸せにたる経営を
一人間性を無視する共産主義一……2

第58期を顧みて……阪　亀務…4
（随筆）
二、三の愚感……取締役　笠村一雄…6
世界・日本の危機の実体……人事部教養課…12

1961年の回顧
昭和三十六年の回顧……田中副社長…表紙裏
今年の出来事を総決算して……塩沢　元次…8
わが工場の一年を顧みて……16
今年の主な出来事（写真）……43
今年生まれた新製品（写真）……46
今年はこんな年だった（アンケート）……56

支社・支店・営業所・サービス・ステーション紹介
"みちのく"にクボタマークをなびかせて
…仙台営業所の巻…50
第二回西日本実業団対抗柔道大会に出場……42
第十一回大阪府社会人剣道大会……42
……64
（リレー随筆）
朝のめざめに……梶田　博（神　崎）
感激に思う……田村登穂（東京支社）
金沢雑情……土屋政通（　堺　）
なぜと聞うなかれ……藤原　宏（　堺　）
（映画評論）
今月の映画界……鳥海　一郎…62
金属材料研究部の設備について（その8）……76
テレビ・コマーシャルの全国コンクールで受賞
…広告宣伝部…11

（文芸欄）
短歌・俳句・随筆……66
（家庭欄）
12月に思うこと（さくぶんと絵）……68
（改善提案の頁）
当社の改善提案の現況(4)……49
（特許の話）
パテント（その9）……75
技能検定の頁……76
厚生課だより……80
工業所だより……83
訓練所だより……91
社　報……94
総　目　次……98
表紙　"畑"……辻本　巡治（本　社）
写真　"小鍛冶"……小川　一成（本　社）

昭和三十六年の回顧

副社長　田中勘七

昭和三十六年はいわば経済の成長ムードにわき立された年であったと言える。年初来引き続いた経済成長の趨勢は着々の設備を必要とするものであったが、池田内閣の打ち出した所得倍増計画は成長ムードをいやが上にも盛り立て、企業各社の設備投資への指向は年央には最高潮に達し、投資、消費在庫等の総需要の急増は国際収支の均衡を次第に破り、本年中頃より懸念する過熱論、悲観論の中に政府もついに金融引き上げ等一連の金融措置を以って対処せざるを得なくなり成長ムードの厳しい反省の段階に於て本年事を終えたわけである。しかもこの度の成長ムードのわざわいの中に大、中、小それぞれの会社がそれなりに影響を受けたことは、四、五年前にもそうした例があった事を思い出す事ができる。

［illegible］をセットとした十箇条を続け［illegible］ても、斯うした景気の変動には常に、金融的に［illegible］の他いろいろ面に於て影響を受けるのであるが、幸いにして第三十八期、第三十九期前半は従業員一丸となり慎重な施策を以ってそれ対策に適次遅滞なく善処できる事は既に皆様のご承知のことと思う。好景気にも、不景気にも最善に於ては常に適切なる計画のもに緻密なる対策を立て先手必勝である事を痛感する。

明年二月には当社の資本金も弐百九億円となり、わが国に於てメーカーとしては巨大会社の仲間入りする事となった。

しかし図体だけが大きくなっただけでは何の役にも立たたのであって、各員ともに努力を積み重ねた会社にならなければならない。日頃月次の終りに一応集まりを持ち、現状把握と今後の施策について話し合う事は［illegible］

［illegible］わが会社［illegible］

［illegible］一人一人が全力をつくすという自覚の下に一層の努力の精進を切望してやまないのである。

終りに皆さんの各家庭に於ける［illegible］

［illegible］

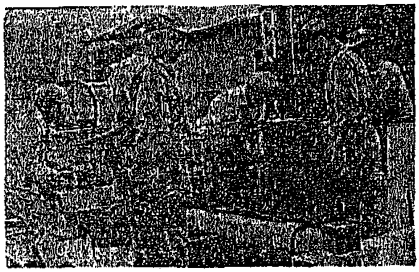
感謝します。

S36/12月

まわりを芝生の緑に囲まれたこのスマートな建物は、その明るい近代美で神崎の名誉を飾るにふさわしく、訪問者の眼に映えて、みなの心をなぐさめてくれる。

四、出荷・生産に新記録樹立

昨年秋より上昇を続けた生産・出荷は、翌月これまでの一番上なる六、〇〇〇トン台を記録にマークしたが、三月に出荷で六、八〇〇トン台に生産高六、三〇〇トンと従前の記録を樹立。工場としての記録はもちろんであるが、わが国トップメーカーとしての地位を数字で示したのである。操業開始後わずか六年、二つの面



ミスター・コスキナンの立会による厳しい検査

五、U・L規格に合格

貿易自由化の波がわが国鉄鋼業の岸辺をゆるがす時期の問題となった今日、工場パイプもその例にもれるわけではない。

国際市場への進出の前提に、クボタの石綿パイプが、品質的にどのようなものであるか、その国際的な位置づけとして、アメリカのU・L規格をパスすることが急務であったが、去る七月、U・L検査ミスター・コスキナンの立会により、約一カ月厳しい検査が行なわれたが、破裂・漏洩等法・曲げ等各種にわたり合格、国際規格品としてその保障を受けることとなった。

日本のクボタから、世界のクボタへ石綿パイプはその水を力強く進もうとしている。

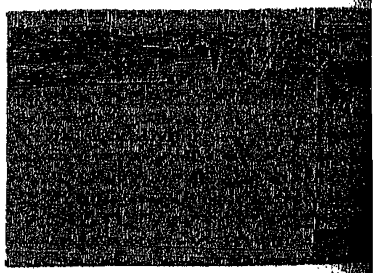
大浜工場

一、出荷二、〇〇〇トン突破

小型鋼船への直接積込みに成功

これまで、生産されていたスパイラル鋼管は全部トラックまたは鉄を用いての出荷方法に頼られていた。

しかし、最近の生産量の飛躍的増加に伴って出荷面でもさらに合理的方法による大量出荷を期さなければならなくなった。



工場内を走る舗装道路

そこで当場においては、工場内道路の舗装工事を完成すると同時に、モビールクレーンや小型差引運搬船の導入、並びに運搬方法の改善等に大いに意を注いできたわけである。特に九月度からは、当工場の岸壁に小型鋼船を接岸せしめ、これに直接積込みすることに成功、この結果二度にわたる積込が可能となった。

こうした出荷方法の合理化と、全員の努力の結果、五十八年の締めくくりである十月度においては、ついに出荷二、〇七九トンという成績をあげることができたのである。

二、二〇メートル管の完成

スパイラル鋼管の特徴として、他のパイプと違って長さの長いものを作げるという点があげられる。大浜工場では、このスパイラル管の特徴を発揮して、管長二〇メートルという長尺パイプを製造した。これら長尺パイプは埋設地区埋立地等の杭として使用された。



長尺20メートルパイプの出荷風景

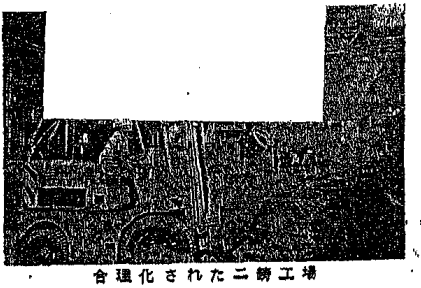
三、二号機工場建設工事進む

一昨三十四年に竣れに、第一号図管機によって生産を開始してから、ちょうど三年経過、たとことになるが、当工場では、現在第二号図管機工場の建設工事が進められつつある。

二号機工場は、現在の一号機工場の東側に隣接して建設されるわけだが、すでに杭打ちも終って、基礎工事に移っている。

二号機工場が完成すれば、その生産能力は一号機と合わせて月間、〇〇〇トンと飛躍的に上

なるよう」のスローガンのもとに、久保田の臨崎工場創設準備委員会を結成しているのである（山田勝彦）



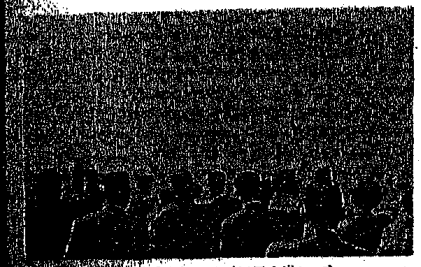
合理化された二崎工場

年頭の言に「基礎を固め将来の発展を期す」とあり、多角的経営からの脱皮と基礎の上に長大な発展を図る。

本年度建設を終るこのヒックスを全面機械が、全く新しい道への開拓に受けてがんばりたい。

二、大号水槽完成す

世界最大の大口径管をつくるクボタの石積パイプは、工業用水関係に大きな市場を開拓し、国際市場への進出も企図しているが、この関係の設備にとどまらず、大管需用の水管橋設計が急務となっていたが、八月から着工し三月末、外装工事の終り、あとはクレーン取付けを残すのみとなった。

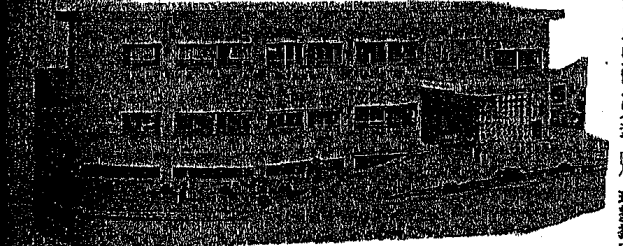


工場長岡直来さる（伊丹空港にて）

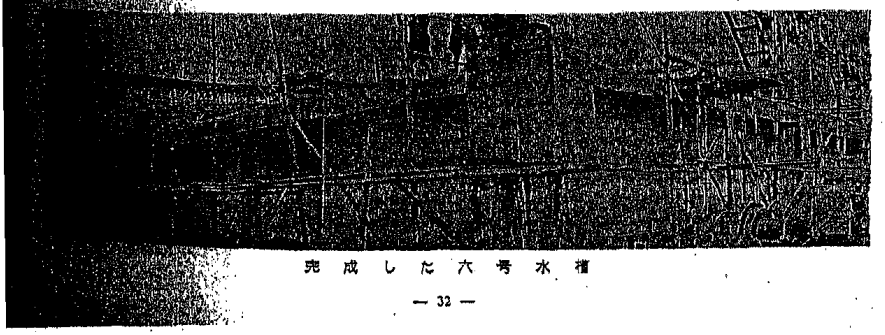
容量三、〇〇〇万米をこえるこのマンモス水槽が稼動することによって、品質と量において画期的な飛躍を遂げることが期待され、将来への大きな拍車が加えられることになる。

三、新鋭事務所完成

神崎工場永年の懸案であった事務所がついに完成した。地階鉄筋コンクリート、ドライエリアーのついた明るい食堂、厨房、理髪等厚生



5万米で工場の玄関を飾る新事務所



完成した六号水槽

クボタ月報
No.126
昭和36年12月号
発行所 大阪府浪速区船出町2丁22
久保田鉄工株式会社
人事部教育課
印刷所 共立印刷株式会社